

# SSL コンフィギュレーション不一致による OAMP の CVP レポート サーバー到達不能状態のトラブルシューティングを実行して下さい

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題の説明](#)

[ログ分析](#)

[手順](#)

[解決策](#)

## 概要

この資料に Secure Sockets Layer ( SSL ) コンフィギュレーション不一致によるオペレーションおよびマネジメント コンソール ( OAMP ) の Cisco カスタマ 音声門脈 ( CVP ) レポート サーバー到達不能状態のトラブルシューティングを実行する方法を記述されています

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- CVP 設定
- SSL

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づくものです。

- CVP 11.0(1)
- CVP OAMP

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

## 問題の説明

deployment CVP では CVP レポート サーバーは CVP OAMP に追加されます。 CVP レポート サーバーでは、サービス **Cisco CVP CallServer** は**走行状態**にあります。ただし、CVP レポート サーバーは SSL 設定のためのミスマッチによる CVP OAMP の**到達不能状態**にあります。

## Log Analysis

これは OAMP サーバ ディレクトリ **C:\Cisco\CVP\OAMP** から集められる OAMP ログの断片です。

```
843: 10.203.72.28: Nov 03 2017 03:12:43.803 -0700: %CVP_11_0_OAMP-3-
OAMP_OMGR_JMX_CONNECTION_ERROR: Unable to establish JMX connector to URI
service:jmx:rmi:///jndi/rmi://10.203.72.27:2099/jmxrmi: error during JRMP connection
establishment; nested exception is:
```

```
javax.net.ssl.SSLHandshakeException: sun.security.validator.ValidatorException: PKIX path
building failed: sun.security.provider.certpath.SunCertPathBuilderException: unable to find
valid certification path to requested target [id:7513]
```

```
848: 10.203.72.28: Nov 03 2017 03:12:43.819 -0700: %CVP_11_0_OAMP-3-
OAMP_OWEB_FORWARD_DEVICE_EXCEPTION_ERROR: An unexpected exception occurred during operation
Save&Deploy (Device name: E2CVPREP11QA.lab.esurance.com | Managed address: 10.203.72.27 | Device
type: Unified CVP Reporting Server): com.cisco.cvp.oamp.omgr.exception.MgmtException: JMX
connection failed: uri=service:jmx:rmi:///jndi/rmi://10.203.72.27:2099/jmxrmi,rmiTimeout=10
```

## 手順

ステップ 1: SSL が CVP レポート サーバーの **orm\_jmx.properties** ファイル ( **%CVP\_HOME%\CONF\orm\_jmx.properties** ) の本当に設定されることを確認して下さい。

```
Javax.net.debug = all
```

```
com.sun.management.jmxremote.ssl.need.client.auth = false
```

```
com.sun.management.jmxremote.authenticate = false
```

```
com.sun.management.jmxremote.port = 2099
```

```
com.sun.management.jmxremote.ssl = true
```

呼び出します。 OAMP で、CVP レポート サーバーの **Ops コンソールの有効セキュアコミュニケーション**が有効にならない イメージに示すようにことを、チェックして下さい。

The screenshot shows the OAMP console interface with the following elements:

- Top navigation bar: Save, Save & Deploy, Statistics, Database Administration, File Transfer.
- Sub-navigation tabs: General (selected), Reporting Properties, Device Pool, Infrastructure.
- General tab content:
  - IP Address: \* 10.203.72.27
  - Hostname: \* 1 E2CVPREP11QA.lab.esu
  - Description: qa cvp reporting server
  - Enable secure communication with the Ops console: 2
  - Device Version: Unknown
- Bottom section: Required.

## 解決策

ステップ 1. CVP レポート サーバーのオペレーション リソースマネージャ ( ORM ) サービスを停止して下さい。

ステップ 2. %CVP\_HOME%\CONF を\orm\_jmx.properties ファイル編集し、本当から偽に com.sun.management.jmxremote.sslproperty 値を変更して下さい、

ファイルを保存し、閉じて下さい。

ステップ 3. ORM サービスを開始して下さい。

ステップ 4. OAMP にナビゲートし、**General** タブの **Security** チェックボックスがチェックを外されるようにするためにサーバコンフィギュレーションを報告するそれぞれ CVP を編集して下さい。それから、**Save&Deploy** を選択して下さい。

これは 1 から 2 分 OAMP が CVP レポート サーバーの右の状態を反映する必要があった後問題を解決し。